（日刊）第20577号　（昭和19年5月30日第三種郵便物認可）

日本証券新聞

Nihon Securities Journal since 1944, a member of JIA

2020年[令和２年] 1/16 木曜日（先負）

1カ月4,988円／1部240円

日経平均 23,916.58 −108.59(−0.45%)

日本証券新聞 Digital www.nsjournal.jp

今日の紙面
好業績のＩＴ・内需株が人気 ……２面
トップインタビュー LINK&M 坂下英樹代表取締役社長に聞く……２面
私の尻馬投資法 …最終面
米藏のＦＸ最前線 …最終面

TOPIX週足3カ月(直近)

発行所©日本証券新聞社2020　〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町２－16－１　土曜・日曜・祝日は休日刊　日本証券新聞 Facebook https://www.facebook.com/nsjournal　販売に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9415　記事に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9419（午前10時から正午まで）

日本人アクティビスト〝第一人者〟に聞く

ユニゾ買収劇も時代の転機に

ストラテジックキャピタル 丸木 強 代表取締役

年が明けてもアクティビスト（物言う株主）の活躍は相変わらず。15日に昨秋の実質最高値を払ってきたオンパスの買い増しなどは象徴的だが、昨年から米国アクティビストの第一人者といえば、ストラテジックキャピタルの丸木強代表取締役（写真）となろう。昨年12月25日の特集サイト「京阪神ビルディング（８８１８）の株主価値向上に向けて」開設も話題を呼んだ。その奈良仮神ビルと、14日に1996年以来の高値に買われた浅沼組（１８５２）が昨年1年間でともに78%高を記録するなど投資先企業の株価パフォーマンスも極めて良好だ。丸木氏に話を聞いた。

―今回の特集サイト開設はやや早めだが…。

「昨年は1月に図書印刷（完全子会社化で上場廃止）、3月に蝶理（８０１４）、4月に櫻木製作所（５２０８）はまだ1年足らずだが、京阪神急（１８９８）、浅沼組のサイトを開設した。4月が多いのは株主提案直後に立ちあげたためだ」

―京阪神ビルへの投資はいつごろからか。

「２０１７年秋だったかもしれない。賃貸等不動産時価情報など、ある試算で最も割安なのが（ユニゾＨＤ（３２５８））で、次がこの株とみていたが、ユニゾには敵対的提案をしなかった。

「現在の主要投資先は（ユニゾＨＤ）が掛かり買収合戦へと発展した。日本にもそこそこ廃止、3月に蝶理（８０１４）、4月に櫻木製作所（５２０８）はまだ1年足らずだが、京阪神急（１８９８）、浅沼組のサイトを開設した。4月が多いのは株主提案直後に立ちあげたためだ」

―京阪神ビルへの投資はいつごろからか。

「２０１７年秋だったかもしれない。賃貸等不動産時価情報など、ある試算で最も割安なのが（ユニゾＨＤ（３２５８））で、次がこの株とみていたが、ユニゾには敵対的提案をしなかった。

「現在の主要投資先は（ユニゾＨＤ）が掛かり買収合戦へと発展した。日本にもそこそこ

―それはなぜ？

「投資家の側に立って考えれば、実質利回り!!が最も高いのは１００株投資。増えるのは最低単元の株ばかりになる」

―特集サイト開設第1弾の図書印刷は親子上場解消実現に至った。

「あらゆる機会を通じて働きかけた。経営者も嫌だったと思う（笑）」

―昨年のファンドの関門に意識される年末相場に強気シグナル点灯。

「苦難と試練の局面から一転、つに脱出。東芝（６５０２・２８０）の利益はプラス48%と大変な伸びを記録しました。10月の消費税引き上げ前の駆け込み需要で冷蔵庫や洗濯機が伸びているようで、四半期ベースで過去最高を更新しました。

この決算発表によって株価は大きく上昇しています。消費税の駆け込み需要だけであれば、好決算だとしても大きなインパクトにはなりません。月次売上の推移を見れば、10月から12月までほぼ反動減が続いているようです。

それでも大型の白物家電のほかにも、ウィンドウズ7のサポート終了やパソコンや、ゲーム関連製品が好調に推移しています。５Ｇ（第５世代移動通信システム）のサービス開始前で動きが鈍いとみられていたスマホも、予想以上に健闘しているようです。

注目すべきは生活家製品のほうです。8月決算のピックカメラが発表した第1四半期（９～11月）の決算は、売上高がプラス10%と二ケタ近い伸びとなり、営業利益もプラス48%と大変な伸びを記録しました。10月の消費税引き上げ前の駆け込み需要で冷蔵庫や洗濯機が伸びているようで、四半期ベースで過去最高を更新しました。

この決算発表によって株価は大きく上昇しています。消費税の駆け込み需要だけであれば、好決算だとしても大きなインパクトにはなりません。月次売上の推移を見れば、10月から12月までほぼ反動減が続いているようです。

それでも大型の白物家電のほかにも、ウィンドウズ7のサポート終了やパソコンや、ゲーム関連製品が好調に推移しています。５Ｇ（第５世代移動通信システム）のサービス開始前で動きが鈍いとみられていたスマホも、予想以上に健闘しているようです。

注目すべきは生活家製品のほうです。8月決算のピックカメラが発表した第1四半期（９～11月）の決算は、売上高がプラス10%と二ケタ近い伸びとなり、営業利益もプラス48%と大変な伸びを記録しました。10月の消費税引き上げ前の駆け込み需要で冷蔵庫や洗濯機が伸びているようで、四半期ベースで過去最高を更新しました。

この決算発表によって株価は大きく上昇しています。消費税の駆け込み需要だけであれば、好決算だとしても大きなインパクトにはなりません。月次売上の推移を見れば、10月から12月までほぼ反動減が続いているようです。

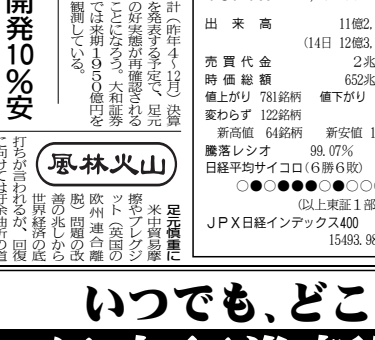
それでも大型の白物家電のほかにも、ウィンドウズ7のサポート終了やパソコンや、ゲーム関連製品が好調に推移しています。５Ｇ（第５世代移動通信システム）のサービス開始前で動きが鈍いとみられていたスマホも、予想以上に健闘しているようです。

注目すべきは生活家製品のほうです。8月決算のピックカメラが発表した第1四半期（９～11月）の決算は、売上高がプラス10%と二ケタ近い伸びとなり、営業

東芝、強気シグナル点灯

3年ぶり4000円台

関門抜けで新局面入り



14日に一時３９９５円を付けて２０１８年11月７５２円高値（16年12月の期待といった刺激材料は波乱相場直前付けた4IPO（新規上場）期待、さらには東証1部復帰への動きなどが注目点だ。

会社側の今3月期連結営業利益見通しは１４４０億円（前期比3・95倍）だが、上振れ着地が有望。2月14日に第3四半期決算を発表する予定で、足元では来期１９５０億円を計画（昨年4～12月）